

### 厚生委員会 研修報告

平成30年7月2日～4日

全国的に高齢化が進展し、介護サービスの利用が増えている。筑後市でも介護保険料の基準額が高くなり、市民の負担感が強く、介護予防や介護負担軽減の取組みをし



介護ロボットでの訓練体験（小松市）

### 人とのつながりが 介護予防に貢献

石川県加賀市では、住民主体の地域おたつきやサークル」が約4割の地域で開かれており、体操や茶話会等が実施されている。このような人と人とのつながりが、健康づくりや介護予防に大きく

### 介護ロボットで 負担軽減へ

同県小松市では、介護負担の軽減や質の高い介護サービスの提供、要介護者の自立支援を目的に、介護ロボット導入の補助を行っている。市内の介護老人保健施設を訪問し、介護ロボットの機能を使った歩行等も体験した。リハビリ意欲を生む効果や、介護従事者の負担軽減となり、人材確保も期待できると感じた。

【人】	口	
加見市	市	67,571人
小松市	市	108,358人
越前市	市	83,122人

このほか、福井県越前市では、ごみ減量化等について学んだ。

### 議会運営委員会 研修報告

平成30年11月15日～16日

岐阜県可児市では、議会改革の取組みを、同県関市では、タブレット端末（※）の活用について視察した。

### 数多くの議会改革

可児市議会では、平成15年度より議会改革の協議が始まり、24年12月の議会基本条例の議決を契機に、議会広報活動の充実や議会報告会などが取り組まれている。

決算審査等が出された意見を次年度予算へ反映させるための提言システムや、議員と市民との懇談会など数多い議会改革の取組みに感心した。筑後市議会でも、このような事例を参考に、議会運営のさらなる改革が必要であると感じた。

### 経費削減と 最新情報の共有化

同県関市議会では、議員からの提案により、25年9月議会から、全議員にタブレット端末を貸与している。

このことで、議案書や予算・決算書などのペーパーレス化による経費削減、最新情報の共有管理などが実現できる。また、議会資料は端末

※平板型で、画面を直接触って操作する携帯型の情報端末



関市ではタブレット端末の説明を受けた

【人】	口	
可児市	市	101,292人
関市	市	89,036人

## 先進地に学ぶ

### 建設経済委員会 研修報告

平成30年7月3日～5日

建設経済委員会では、山口県宇部市の道路の整備・維持管理について、岡山県玉野市の新公共交通システムについて視察した。

### 市民の力で道路整備

宇部市では、「わたしたちの道づくりサポート事業」、「ピカ美化ロード宇部制度」など様々な事業が展開されている。市道の維持・修繕には、毎年多額の予算を必要としており、工事に着手できない狭小市道などを市民の力で使いやすく地域に根付いた道路にすることを可能にする事業であった。

### 新公共交通システム

玉野市では、「シーバス」という市全体をカバーするコミュニティバスがあるが、年々利用者が減少し問題になっていた。そこで、「シーバス」に加え、自由な移動が可能な「シートク」の運行を開始し、顕著な成果を上げている。



宇部市での研修風景

【人】	口	
宇部市	市	167,484人
玉野市	市	60,930人
国府川	市	137,153人

## 傍聴席の声



◆ 久しぶりの傍聴。以前に比べ、議員の私語も少なく真剣さがあった。財政健全化、小学校再編は慎重に議論してほしい。（60代男性）

◆ 傍聴者目線で丁寧に資料が用意されていると感じる。この点は、他市より優れていると思う。（30代男性）

◆ 初めての傍聴。質疑内容に理解できない点があった。

◆ たが、関係課長の答弁が分かりやすかったので納得できた。少したが、市政を見るこができた。（年代、性別不明）

◆ 議員も執行部も声が小さく、傍聴席からは聞こえにくかった。マイクをもっと上手に使ってほしい。（80代女性）

◆ 今回も、多数の傍聴ありがとうございました。また、貴重なご意見もありがとうございました。会議の音が聞き取りにくいとのことなので、マイクの調整をしてみます。

